

天文学とプラネタリウム 第14回

ATP第2弾の構想も着々と進行中！！

天プラ企画書 on 星ナビ

- ATP、世に出る -



高梨直継 (東大D1/天文学教育研究センター所属) 平松正顕 (東大D1/国立天文台ALMA推進室所属)

天プラプロダクト第1弾アストロミカル・トイレットペーパー (ATP)、皆さんもうご覧になりましたか？このコラムでも何度か紹介してきましたが、ついに今年の始めから、いくつかの科学館・プラネタリウムやアストロアーツオンラインショップでの一般販売が開始されました。ここでは、ATPが世に出回り始めた時からの反響をご報告します。

1. ネットワーク上のATP

ATPへの世間からの注目は、1月初旬に毎日新聞に写真入で掲載されたことから高まりました。ネット上でも紹介され、それが方々の掲示板や個人ブログに転載されることで広まって行ったようです。そしてそれが決定的になったのは、三菱電機が運営するDSPACEという宇宙関連のサイトのコラムに取り上げられ、それがYahoo! Japanのニュースに掲載されたことでした。一時はYahooのトップページにもこのニュースが掲載されていました。その後、天プラのサイトには普段の100倍を超えるアクセスが殺到し、掲示板が使用できなくなるほどでした。そしてこれがまたとても多くのブログに取り上げられてさらに広まっていったのです。読者の皆さんの中にもブログを書いている方がいらっしゃるでしょうが、こういう個人からの発信がネット上にはあふれているんです。『これがIT革命ってヤツか！』と陳腐な感想を抱いた開発陣でした。いろんなところで取り上げられたことで、その反響も見ることができました。「とにかく発想が面白い」「他にもいろいろ応用できそう」など、おむね好評なようでほっと一安心です。お読みになっている皆さんでATPを手にした方はいかがでしょう？ぜひ感想をお寄せください。

2. ATP実物が各所に

科学館でのお土産としてもATPは好評なようです。お台場の日本科学未来館のショップでは天文分野で堂々の売り上げ1位だそうですし、アストロアーツオンラインショップでも好評だそうです。そもそもこのATP、最初の試作品100個は日産科学振興財団の贈呈金を受けて作られたものでした。その助成金の授与式が3月に銀座の日産本社で開催されたので、参加してきました。財団理事長は誰もが知っているカルロス・ゴーン日産自動車CEO。式では理事長挨拶のあとゴーン氏は退室…だったのですが、助成を受けている他の方々も助成の成果を直接ゴーン氏に手渡していました。これは私たちも負けてはいられません。振り向けば出口、という最後のチャンスをもに、ゴーン氏にATPを手渡ししながら少し説明し、さらにATPにサインを頂くことができました。サイン入りATPは他にも、海部宣男国立天文台長や渡部潤一先生、小柴昌俊先生のものもあります。これらの写真は天プラ内のATP特設ページにて公開しています。他にも、チリやハワイの望遠鏡と戯れるATPの写真もありますので、ぜひご覧ください。



日産科学振興財団理事長、カルロス・ゴーン日産CEOにATPを手渡し、サインをいただく。「英語版はないの？」と聞かれたので、将来的には世界進出も視野に入れて!?



日産自動車銀座ギャラリー、フェアレディZ前でATP プロジェクトメンバーと。左から亀谷、夏莉、平松、高梨。